

**2025年度**  
(令和7年度)

**紋別市における景気動向調査**  
**<第3四半期>**

**報 告 書**

**紋別商工会議所**

# 目 次

## I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

## II. 概 況

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	6
(2) 今期の採算	7
(3) 今期の資金繰り	8
(4) 今期の在庫水準	9
(5) 今期の借入金の金利水準	10
(6) 設備投資の実施状況	10
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	11
(2) 来期の売上高・生産高見通し	11
(3) 来期の資金繰り見通し	12

## III. 各 指 標

1. 各指標	12
--------	----

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2026年2月20日
- (2) 調査対象期間 2025年10月～12月期の実績および2026年1月～3月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	14社	46.7%
水産業部会	30社	14社	46.7%
機械工業部会	30社	12社	40.0%
建設業部会	30社	21社	70.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	17社	56.7%
合計	150社	78社	52.0%

(注1) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示します。

(注2) 各項目の数値は、端数処理（四捨五入）の関係上、合計が100.0%にならない場合があります。

## Ⅱ. 概況

－前年同期に比べ悪化。次期もほぼ横ばい、苦しい状況が続く見通し－

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2025(令和7)年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比▲39.7**となり、**前年同期▲28.0から11.7ポイント悪化**となりました。各部会における前年同期との比較は以下の通りです。

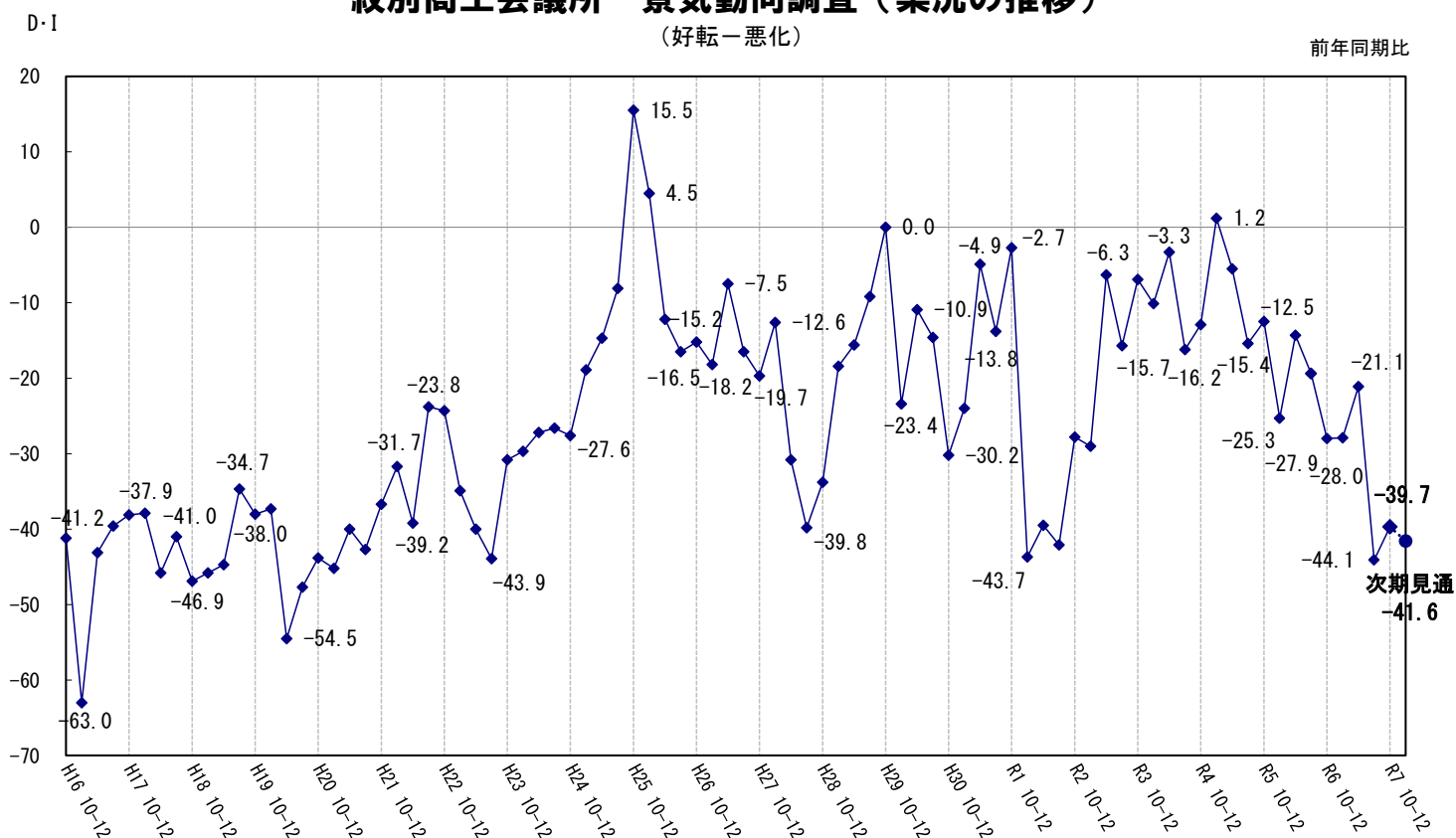
	前年同期 (R6.10～12月)	今期 (R7.10～12月)	増減幅
商業+食品業部会	▲30.8	▲57.1	▲26.3(悪化)
水産業部会	▲6.2	▲78.6	▲72.4(悪化)
機械工業部会	▲47.0	▲8.3	38.7(回復)
建設業部会	▲47.4	▲33.4	14.0(回復)
観光・サービス業+諸業部会	▲5.8	▲23.5	▲17.7(悪化)

今回の調査では、**機械工業・建設業で「回復」したものの、その他業種は「悪化」となりました**。特に水産業はサケやホタテなどの不漁により、原材料不足や原材料費の高騰が大きな原因となっている模様です。全業種を通して「原材料・材料・仕入単価の上昇」や「経費の増加」、「顧客の減少・需要の低下」を訴える声が多くなっています。

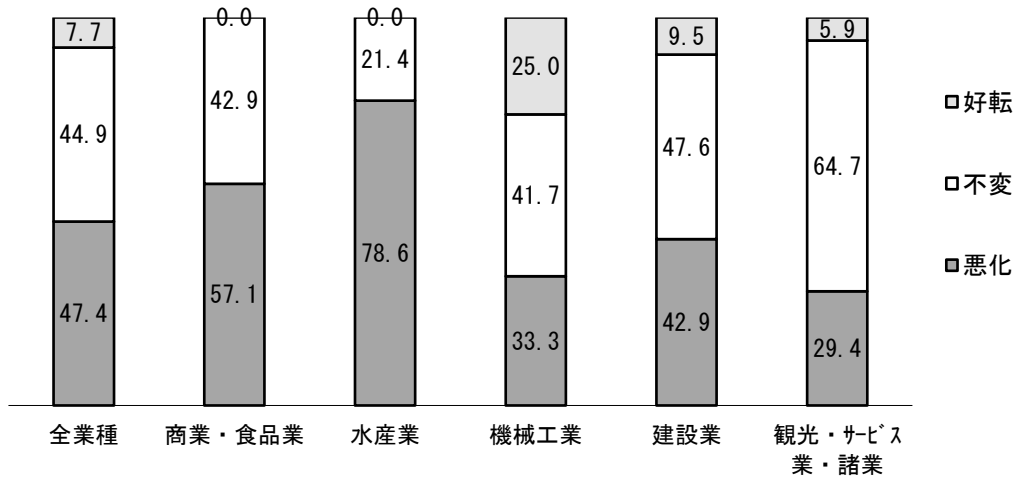
**次期(2026年1月～3月)の見通し**については、**業況判断DIが▲41.6**とほぼ横ばいで推移する見通しで、苦しい状況が続く見込みとなっています。

### 紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



### 今期の業況（前年同期比）



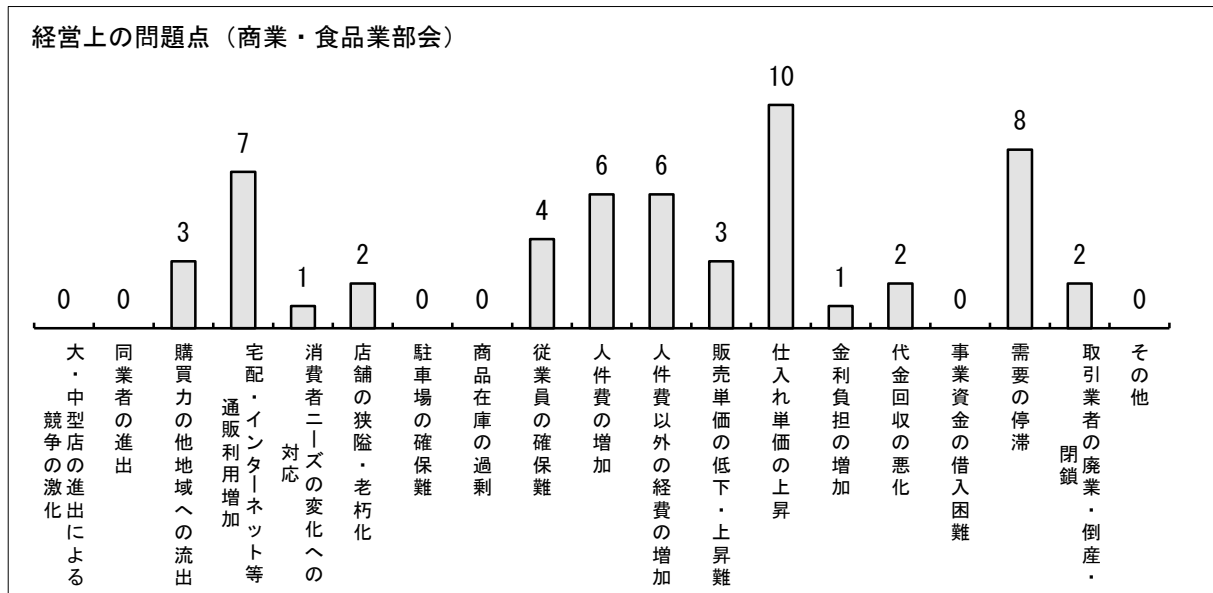
### ■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲57.1（前年DI値▲30.8、来期見通し▲64.3）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ26.3ポイントの大幅な悪化となりました。今期の調査では「好転」と回答した事業所はなく、全体として厳しい業況が続いています。主な要因としては、「仕入単価の上昇」に加え、「需要の停滞」や「宅配・インターネット通販の利用増加」による来店客数の減少が挙げられます。さらに、「人件費の増加」や「人件費以外の経費の増加」など、コスト面での負担を指摘する声も多く寄せられています。

### 《業界の問題点等》

- ・業界団体が解散し必須講習が受講出来ない。web講習に移行予定。（医薬品・化粧品小売）

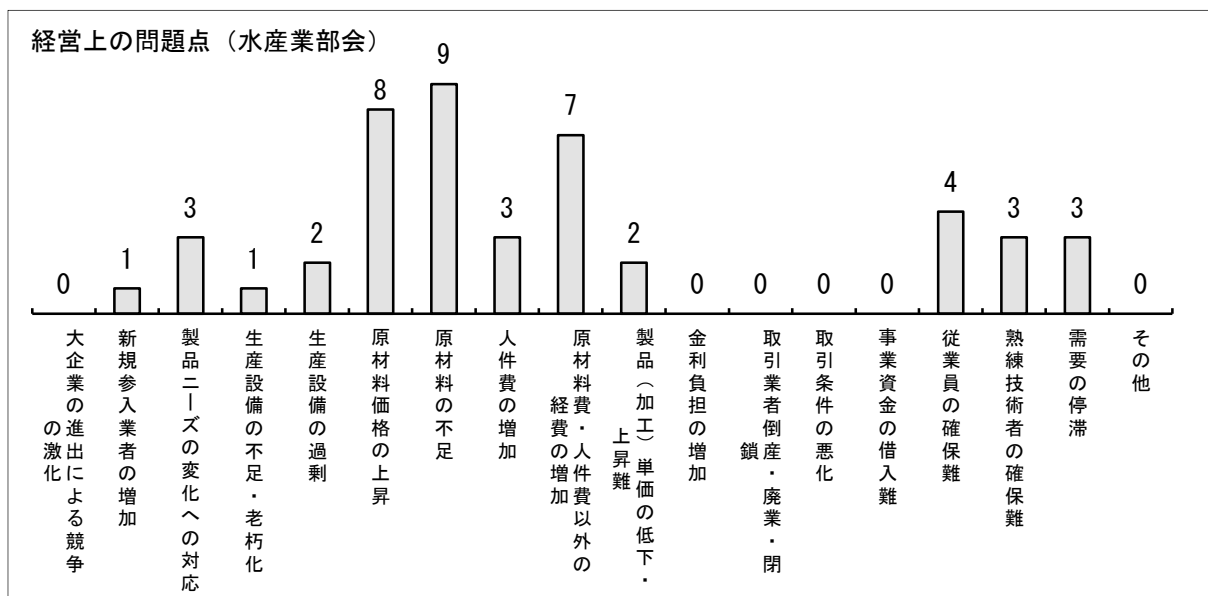


**【水産業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比）▲78.6（前年DI値▲6.2、来期見通し▲53.8）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、72.4ポイントの大幅な悪化となりました。水産業においても商業・食品業と同様に「好転」と回答した事業所はなく、厳しい業況が続いています。主な要因としては、「原材料不足」および「原材料価格の上昇」が挙げられ、在庫水準についても、約半数の事業所が「不足傾向」と回答しています。来期の見通しは、DI値が▲53.8と今期に比べ改善が見込まれるものの、依然として厳しい状況が続く見通しです。経営上の問題点としては、前述の要因に加え、「原材料費・人件費以外の経費の増加」を挙げる声が多くなっています。

**《業界の問題点等》**

・ホタテ、サケの不漁（水産加工）

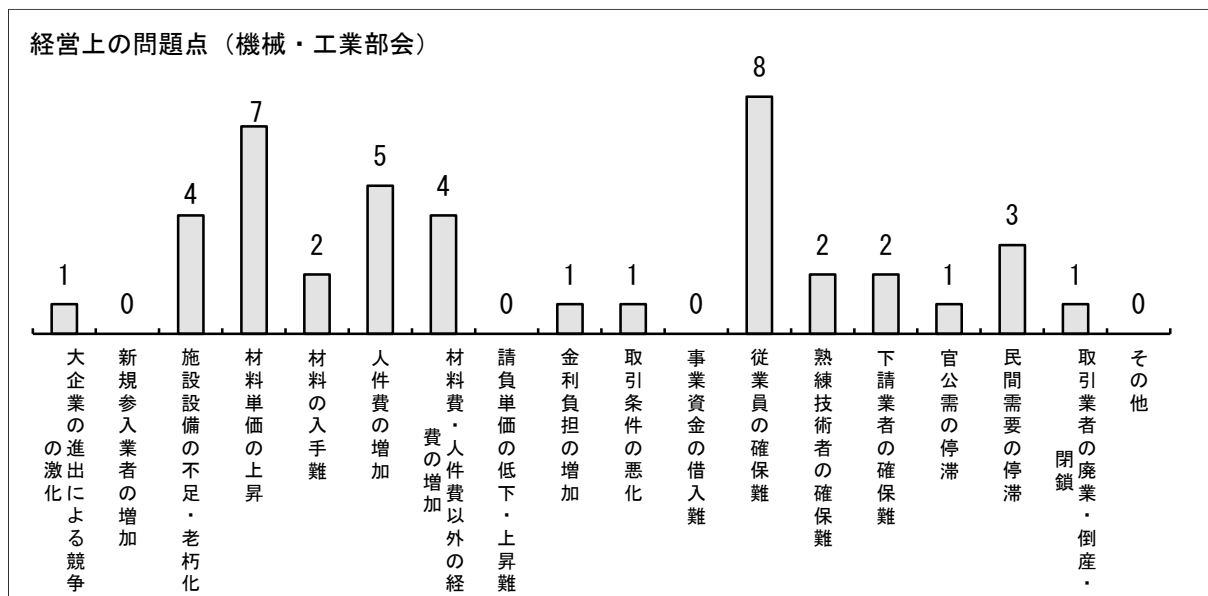


**【機械工業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比）▲8.3（前年DI値▲47.0、来期見通し▲41.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、38.7ポイントの大幅な回復となりました。一方で、「材料単価の上昇」や「従業員の確保難」を訴える声が依然として多く、これに加えて「施設設備の不足・老朽化」を指摘する声も目立っています。設備投資を予定している事業所も多く見られ、設備更新への動きがうかがえます。来期の見通しは、DI値が▲41.6と、依然としてマイナス圏で推移する見込みであり、厳しい状況が続くと考えられます。経営上の問題点としては、前述の項目に加え、「人件費の増加」を挙げる声が多くなっています。

**《業界の問題点等》**

・冬期間は特に官公庁・民間ともに需要が停滞し、売上が悪化してしまう。（室内装飾製造）

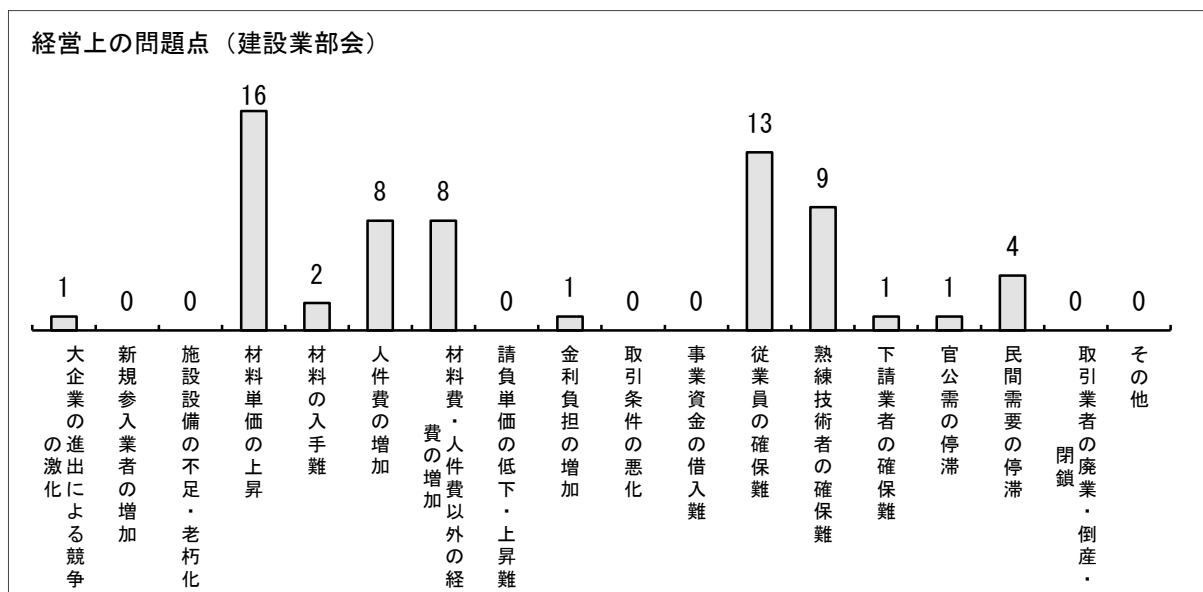


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲33.4（前年DI値▲47.4、来期見通し▲33.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、14.0ポイントの回復となりました。しかし、「材料単価の上昇」に加え、「従業員や熟練技術者の確保難」などの課題が引き続き見られ、依然として厳しい状況が続いています。来期の見通しは、DI値が▲33.3と、同程度の水準で推移する見込みです。経営上の問題点としては、前述の項目に加え、「経費の増加」を挙げる声が多く、コストの上昇が収益を圧迫している状況がうかがえます。

《業界の問題点等》

- ・人数確保が重要問題（土木工事）
- ・材料単価の上昇に伴い、問屋の在庫難等により入荷まで日数を要する。また一部の材料は、こちらで送料を負担しているものもある。（電気工事）



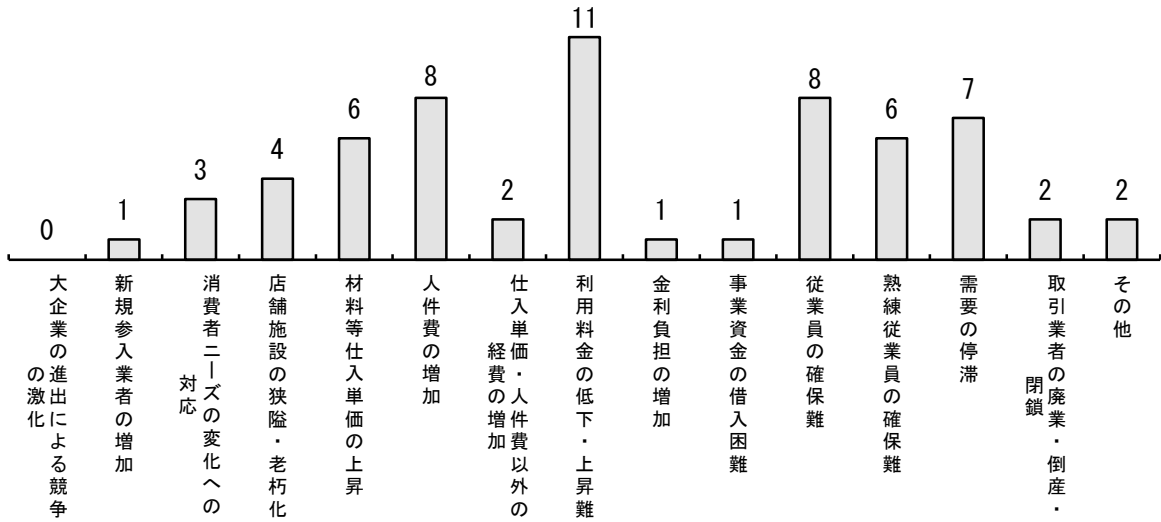
【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲23.5（前年DI値▲5.8、来期見通し▲23.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、17.7ポイントの悪化となりました。特にクリーニング業や理容・美容業において悪化を示す回答が多く、全体としてマイナスの水準となっています。問題点としては、「従業員不足」や「人件費の増加」を挙げる声が多く、こうした課題への対応としてDX化の必要性を指摘する意見も多く寄せられています。来期の見通しは、DI値が▲23.5と、今期と同様の水準で推移する見込みです。経営上の問題点としては、上記の他に、「利用料金の低下・上昇難」を挙げる声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・少子高齢化や生産人口減少による社会全体の労働力不足、DX化など目まぐるしく変わる情勢の中、今後の道筋が見えず、一部の先進化したグループにあおられている感じ。（飲食業）
- ・人手はもはや確保が厳しい。現状DX化していかなければ業界は切迫。（旅客運送業）
- ・従業員不足。SNS等でも募集しているがなかなか見つからない。（スナック）

経営上の問題点（観光・サービス業・諸業部会）



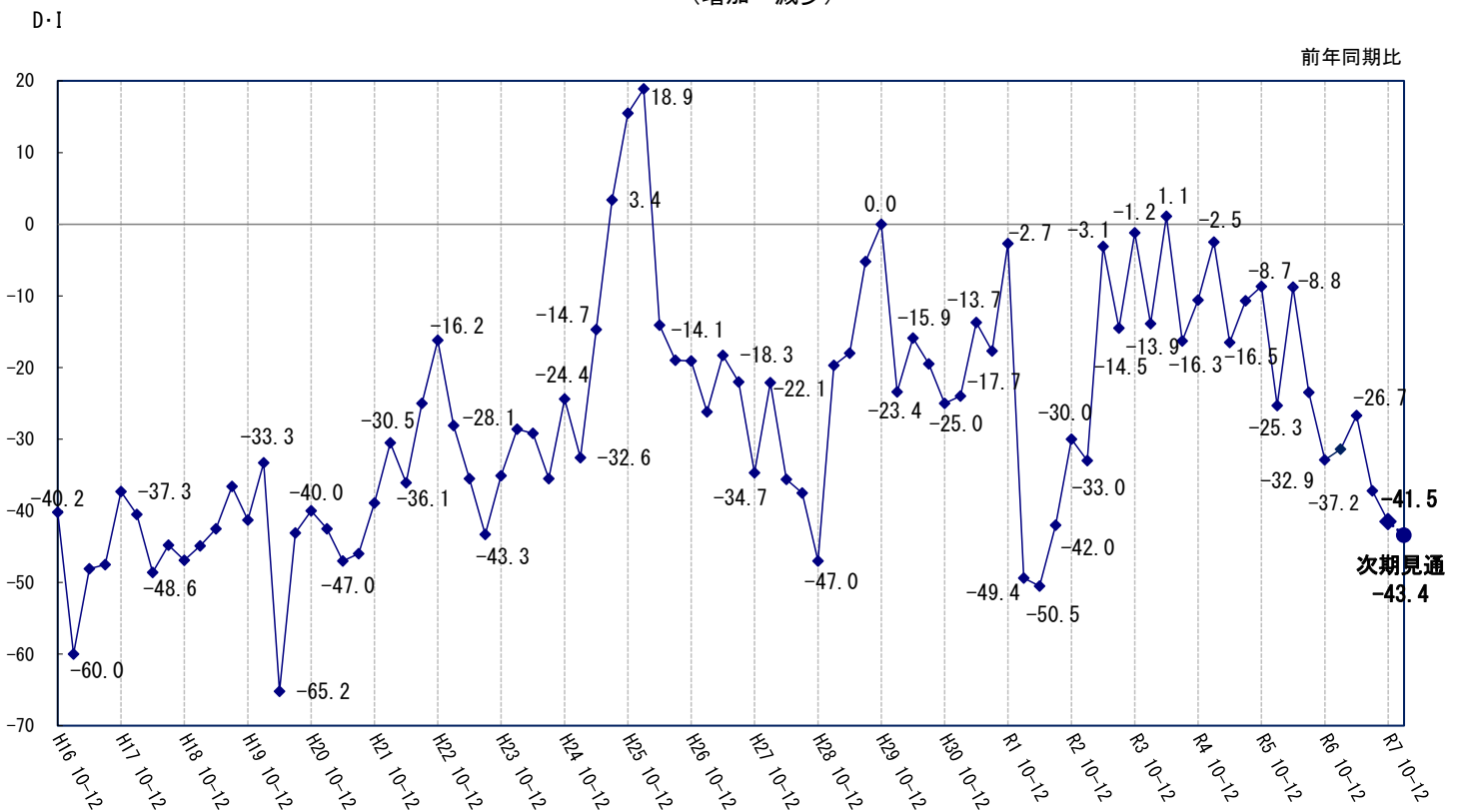
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

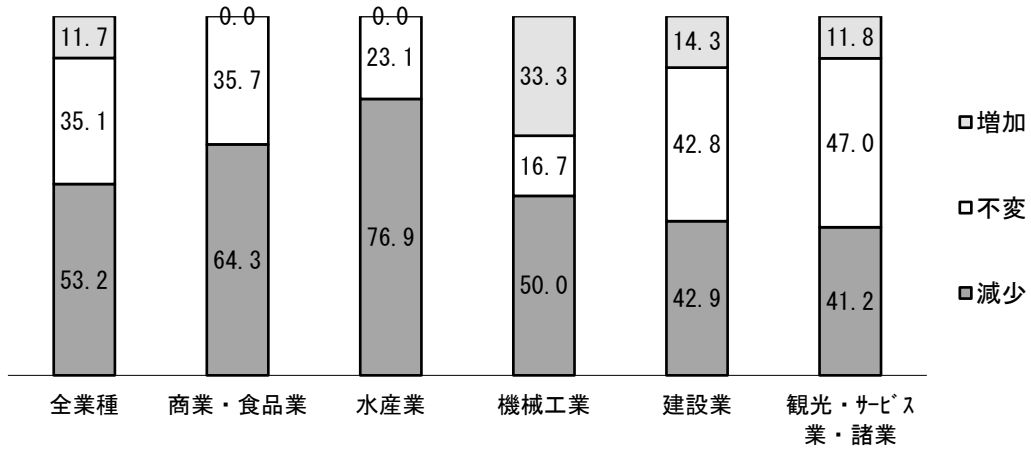
【前年同期比】（2024（令和6）年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲41.5〔前年調査時（令和6年10～12月期 ▲32.9）より8.6ポイント悪化〕機械工業、建設業は大幅に回復。商業・食品業、水産業、観光・サービス業・諸業は悪化。

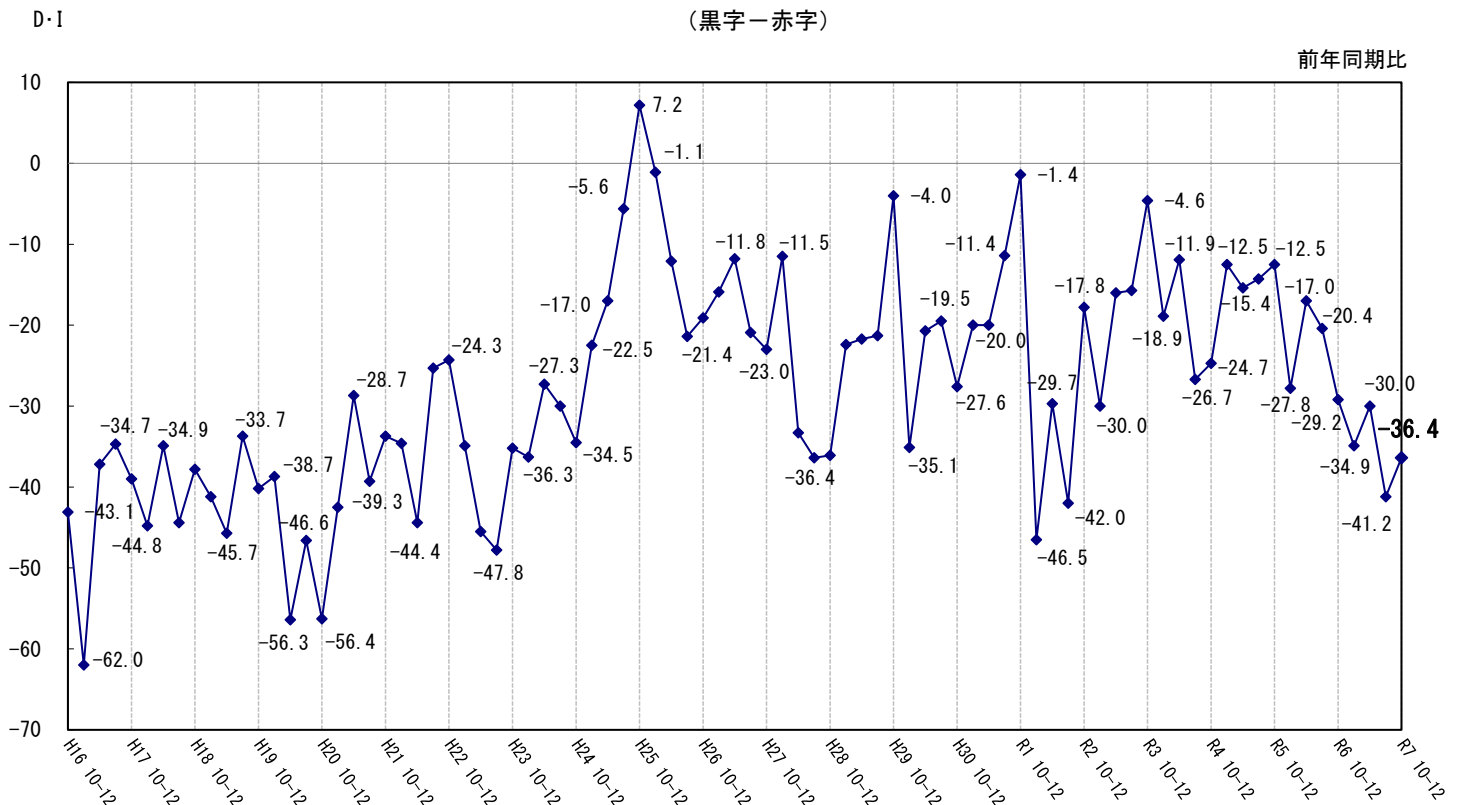
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→▲64.3〕、水産業〔前年▲25.0→▲76.9〕  
 機械工業〔前年▲52.9→▲17.7〕、建設業〔前年▲57.9→▲28.6〕  
 観光・サービス業・諸業〔前年▲17.7→▲29.4〕

### (2) 今期の採算

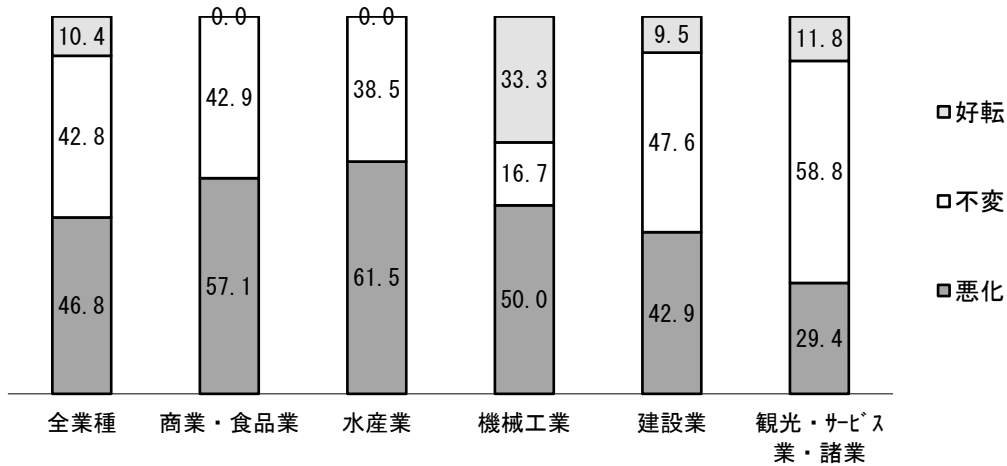
【前年同期比】（2024（令和6）年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準）

### 採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



### 今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値▲36.4〔前年調査時（令和6年10～12月期▲29.2）より7.2ポイント悪化〕機械工業・建設業・観光・サービス業・諸業が回復。商業・食品業、水産業は大幅に悪化。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲23.1→▲57.1〕、水産業〔前年0.0→▲61.5〕  
 機械工業〔前年▲58.8→▲16.7〕、建設業〔前年▲36.8→▲33.4〕  
 観光・サービス業・諸業〔前年▲23.5→▲17.6〕

### (3) 今期の資金繰り

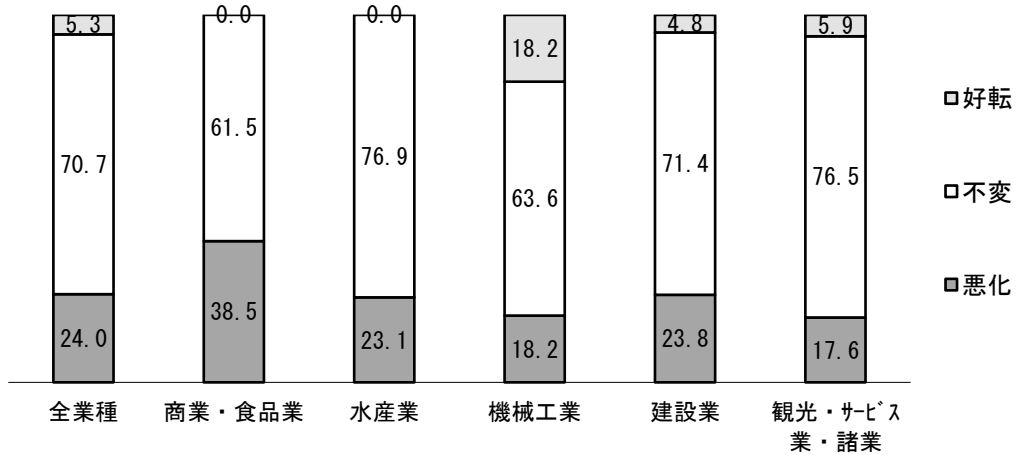
【前年同期比】（2024（令和6）年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）

### 資金繰り推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）



### 今期の資金繰り（前年同期比）



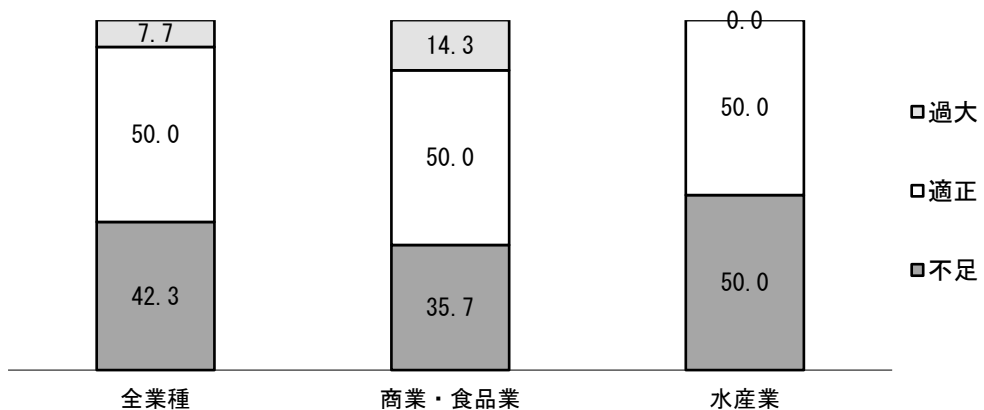
全業種平均でDI値▲18.7〔前年調査時（令和6年10～12月期▲18.5）より0.2ポイント悪化〕機械工業、建設業が回復。商業・食品業、水産業、観光・サービス業・諸業が悪化。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲15.4→▲38.5〕、水産業〔前年▲18.7→▲23.1〕  
 機械工業〔前年▲37.5→0.0〕、建設業〔前年▲21.1→▲19.0〕  
 観光・サービス業・諸業〔前年0.0→▲11.7〕

### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（2024（令和6）年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

### 今期の在庫水準（前年同期比）



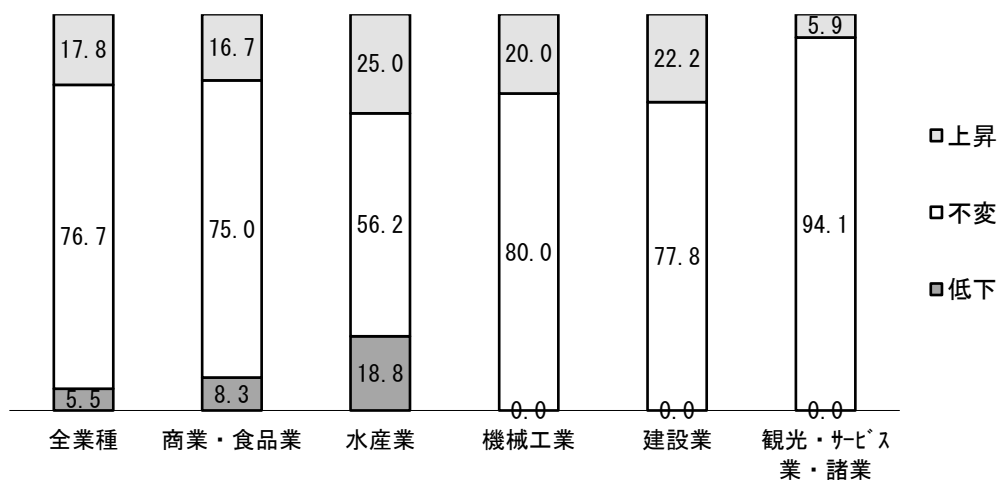
全業種平均でDI値▲34.6〔前年調査時（令和6年10～12月期▲25.0）より9.6ポイント不足傾向〕商業・食品業、水産業ともに不足傾向。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→▲21.4〕、水産業〔前年▲46.7→▲50.0〕

## (5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】(2024(令和6)年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)

### 今期の借入金の金利水準

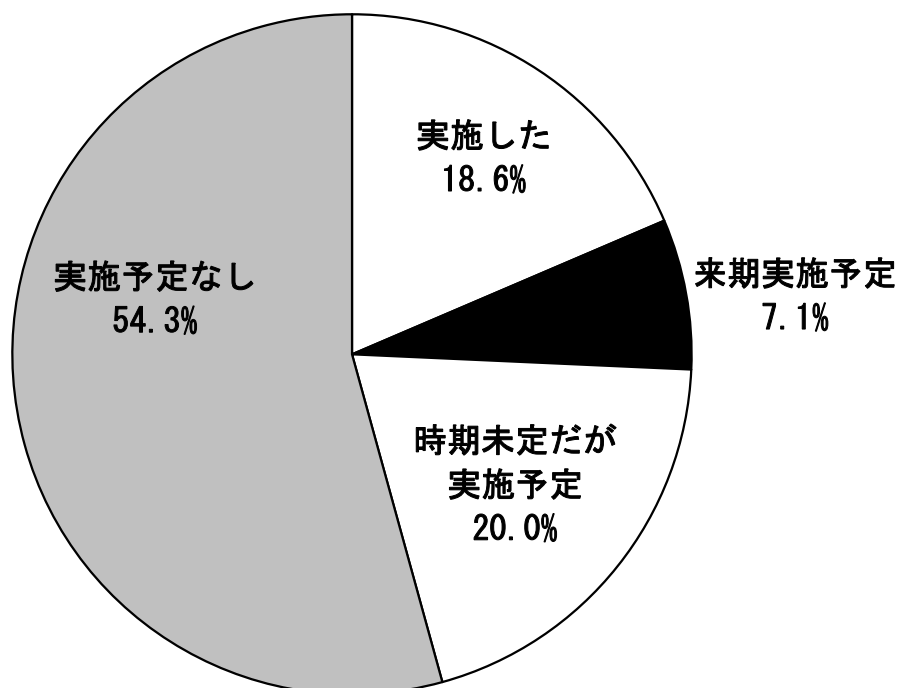


全業種平均で 12.3。商業食品業 8.4、水産業 6.2、機械工業 20.0、建設業 22.2、観光・サービス業・諸業 5.9。

## (6) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

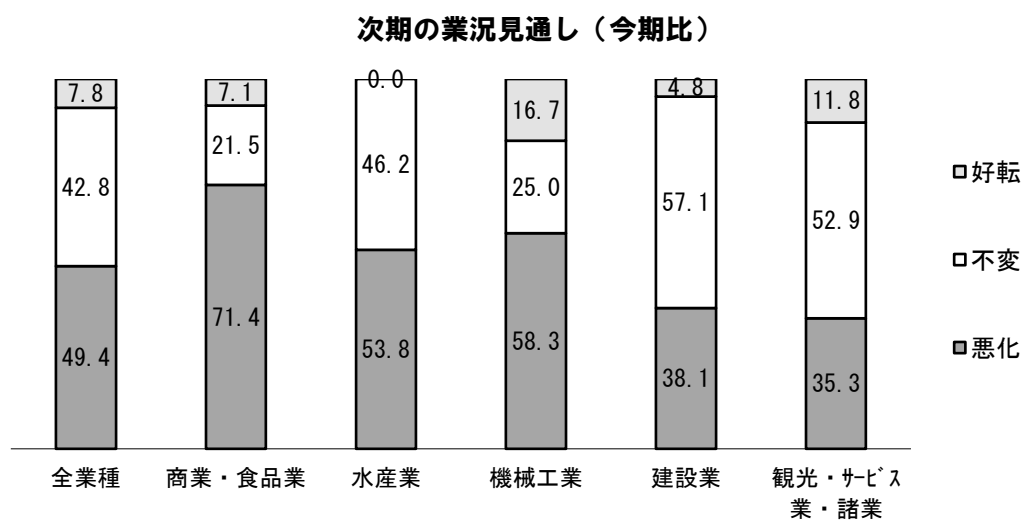
### 設備投資の実施状況



### 3. 来期の見通し

#### (1) 来期の業況

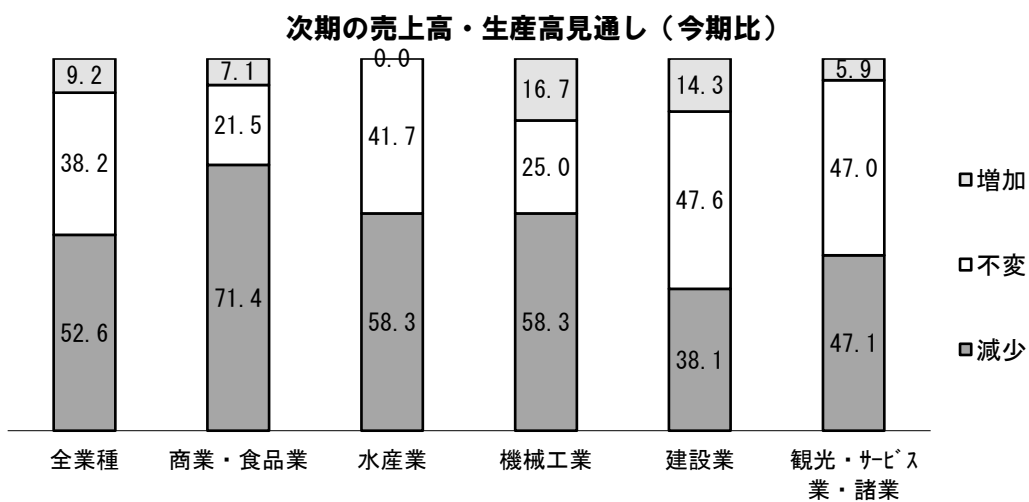
【今期比】（2025（令和7）年10月～12月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲41.6 [今期の業況（前年同期比▲39.7）より 1.9 ポイント悪化の見通し]

#### (2) 来期の売上高・生産高

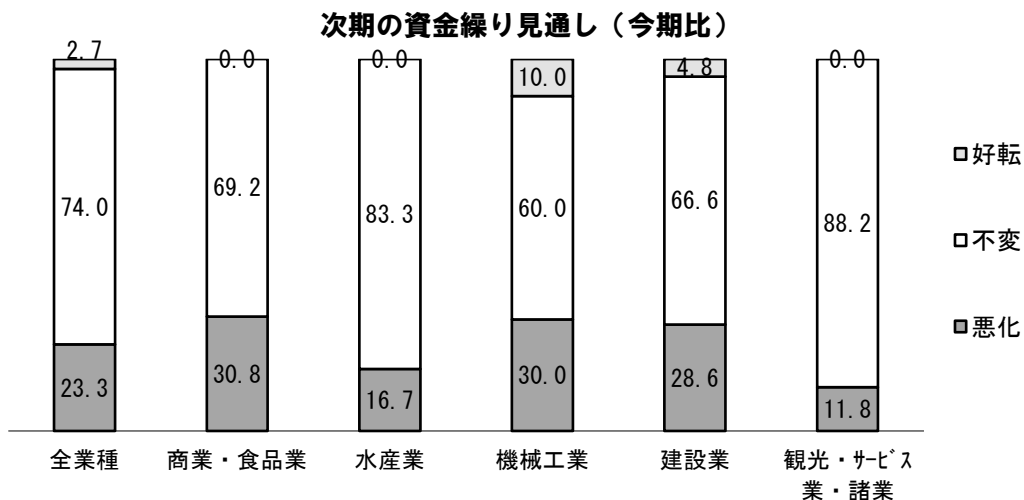
【今期比】（2025（令和7）年10月～12月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲43.4 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲41.5）より 4.2 ポイント悪化]

### (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(2025(令和6)年10月～12月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)



全業種平均 DI 値 ▲20.6 [今期の資金繰り(前年同期比▲18.7)より1.9ポイント悪化の見通し]

## Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サービス 業 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲39.7	▲57.1	▲78.6	▲8.3	▲33.4	▲23.5
	来期見通し	▲41.6	▲64.3	▲53.8	▲41.6	▲33.3	▲23.5
売上・生産 D・I	今期実績	▲41.5	▲64.3	▲76.9	▲17.7	▲28.6	▲29.4
	来期見通し	▲43.4	▲64.3	▲58.3	▲41.6	▲23.8	▲41.2
在 庫 D・I	今期実績	▲34.6	▲21.4	▲50.0	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲36.4	▲57.1	▲61.5	▲16.7	▲33.4	▲17.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲18.7	▲38.5	▲23.1	0.0	▲19.0	▲11.7
	来期見通し	▲20.6	▲30.8	▲16.7	▲20.0	▲23.8	▲11.8
借入金 金利水準 D・I	今期実績	12.3	8.4	6.2	20.0	22.2	5.9
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。